

# ふくやま人権大学2025

## ヒューマン・ライトって？



# いいえ、ライツです。

福山市では、人権文化が根付いた地域社会の実現に向けて、「人権」について学習し、さまざまな角度から啓発内容を創造し発信することのできる地域リーダーの養成を目的に「ふくやま人権大学」を実施しています。

テーマ 人権レシピコース

「住んでよかった」にしたいまちの

人権レシピ(全3回)

第1回 11月13日(木)

アイスブレイク「無意識の思い込み発見かるた」

講義「福山市人権施策基本方針の改訂について」

第2回 11月27日(木)

パネルディスカッション

「人権尊重のまちづくりに向けた地域活動について」

●コーディネーター 客本 牧子さん(人権擁護委員)

●パネリスト 岡峰 信子さん(人権擁護委員)

桑田 哲宜さん(網引学区人権啓発推進協議会会長)

鶴田 ベルナさん(インターナショナルチーム代表)

第3回 12月11日(木)

講演会「人権とは」

●講師 客本 牧子さん(人権擁護委員)

場所 福山市まなびの館ローズコム 4階中会議室

時間 19時～20時30分(3回とも)



申込フォームはこちらから ↑

テーマ 表現コース

「ちがいを重ねてひとつになる

演劇を通じて出会ってみよう(全3回)

第1回 2026年1月17日(土)

講義「表現方法を学ぶ」

ワークショップ 演劇の手法を使ったコミュニケーションゲーム

第2回 2026年1月24日(土)

グループワーク 「わたし」を表現し、「あなた」と交わる

第3回 2026年1月25日(日)

グループワークと発表 「わたし」と「あなた」を「みんな」に伝える

講師 舞台芸術制作室無色透明のみなさん

場所 福山市西部市民センター

時間 13時～17時(3回とも)



申込フォームはこちらから ↑

※手話や要約筆記が必要な場合は、事前にご相談ください。

**申込方法** 電話、ファクシミリまたは電子メールで「名前」、「ふりがな」、「連絡先」、「受講希望テーマ」をお知らせください。各テーマの申込フォームからも参加の申込みが可能です。

**主催・問合せ・申込み先**

福山市市民局まちづくり推進部 多様性社会推進課

TEL 084-928-1006 FAX 084-928-1229

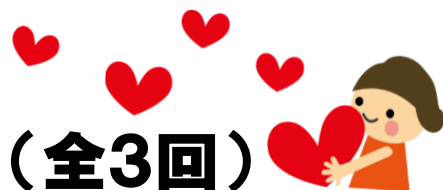
電子メール [tayouseisyakai-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:tayouseisyakai-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp)



ふくやま人権大学HP



# 「住んでよかった」にしたいまちの 人権レシピ コース（全3回）



2025年「福山市人権施策基本方針(改訂)」、あわせて「福山市多文化共生推進プラン」など、福山市における人権施策の根幹となる方針やプランが策定されました。

このような中、本講座『「住んでよかった」にしたいまちの人権レシピコース』では、「人権」の「学びの場」として自身の無意識の思い込みについて振り返り、気づき、そして人権尊重のまちづくりにむけ、地域の人々に寄り添い活動されている方々からその体験(人権レシピ)を通した話を聞きます。



## 第1講座

11/13  
(木)

- ① 「無意識の思い込み発見かるた」を実際にやってみよう！
- ② **講義**「福山市人権施策基本方針の改訂について」

## 第2講座

11/27  
(木)

### パネルディスカッション

「人権尊重のまちづくりに向けた地域活動」について

【コーディネーター】 客本牧子さん(人権擁護委員)

【パネリスト】 岡峰信子さん(人権擁護委員)

【パネリスト】 桑田哲宣さん(網引学区人権啓発推進協議会会長)

【パネリスト】 鶴田ベルナさん(インターナショナルチーム代表)

## 第3講座

12/11  
(木)

### 講演会

「人権とは」

【講師】 客本牧子さん(人権擁護委員)



開催場所：まなびの館ローズコム4階 中会議室

開催時間：19時～20時30分（18時30分開場）

申込・問合せ：多様性社会推進課（電話 084-928-1006）

（Fax 084-928-1229）

2025年11月13日(木)

## 「住んでよかった」にしたいまちの人権レシピコース

### 【第1講座】

- ①アイスブレイク 「無意識の思い込み発見かるた」を実際にやってみよう！
- ②講義 「福山市人権施策基本方針の改訂について」

### 目的

「福山市人権施策基本方針」の改訂背景と、多様性と人権の関係などの要点を学ぶ。また自身の無意識の思い込みについて振り返り、グループでの対話を通して相互理解を深める。

### 学習の内容

#### ①アイスブレイク 「無意識の思い込み発見かるた」を実際にやってみよう！

本市が2025年に制作した体験型人権学習教材「無意識の思い込み発見かるた」を用いてグループワーク形式で実施した。かるたを題材に意見交換を行い、参加者同士が、自身の無意識の思い込みを振り返り、新たな気づきを得る時間となった。



#### ②講義 「福山市人権施策基本方針の改訂について」

福山市人権施策基本方針は、人権三法や市条例の制定、2018年の市民調査の結果など、昨今の人権を巡る動きなどを踏まえ13年ぶりに改訂された。

改訂後の基本方針では、冒頭に「人権とは」として、人権の捉え方について定義づけを行っている。

また、「基本的な考え方」として、多様性と人権の関係を明示するとともに、「差別のない、誰もが真に大切にされる社会」の実現に向けては、「人権の保障」(包摂性・公平性)及び「人権救済」の重要性を謳っている。

### 参加者の感想

#### 【人権施策基本方針の説明について】

- ・福山市人権施策基本方針について、改めて「人権」を考える時間となりよかった。

#### 【無意識の思い込み発見かるた】

- ・初対面の方とも、かるたを通して話せたことで発見があった。
- ・かるたを通して話題が途切れることなく盛り上がり、「人権」について考えることができた。とてもよいツールだと思う。
- ・あっという間の時間だった。わかりやすく、考える時間ももてて楽しく学ぶことができた。

#### 【全体を通して】

- ・自分の意識を振り返るきっかけが多くあった。自分の地域で活用したい。
- ・みんなが気持ちよく生きていくことって大切だと改めて感じた。

2025年11月17日(木)

## 「住んでよかった」にしたいまちの人権レシピコース

### 【第2講座】

**パネルディスカッション** 「人権尊重のまちづくりに向けた地域活動について」

【コーディネーター】客本牧子さん(人権擁護委員)

【パネリスト】岡峰信子さん(人権擁護委員)

【パネリスト】桑田哲宜さん(網引学区人権推進協議会会長)

【パネリスト】鶴田ベルナさん(インターナショナルチーム代表)

### 目的

「福山市人権施策基本方針」の改訂と合わせて「福山市多文化共生推進プラン」が策定され、地域では様々な活動や交流が行われているなかで、誰もが大切にされるまちづくりについてともに考える。



### 各パネリストの発表

客本さん…人権擁護委員や日本語教室の取り組み、人権施策推進委員の活動について

岡峰さん…人権擁護委員としての活動(ヒヤシンスなど教育現場での活動等)

桑田さん…網引学区人権啓発推進協議会での人権学習の取り組みについて

鶴田さん…インターナショナルチームの立ち上げや日常の地域やまちづくり活動について

### パネリストによる意見交流

- 「人権は誰かのことじゃない」自分事として考えることが大切
- 福山市内でも外国人の人が増えているが、知らず知らずのうちに差別をしている・受けているということはないだろうか
- 自分にとっても異文化を受け入れ、関わりを持つことで地域課題について知ることができる

### パネリストの思う「住んでよかったまち」とはどんなまち

- お互いを認め合えるまち
- みんなが幸せと感じるまち

### 参加者の感想

- ・それぞれの方の活動を通して、人権について考えることができた。学び続けること、そして人とのつながりが大切だと思った。
- ・本日のディスカッションだけでも様々な課題があることに気づかされた。知らず知らずのうちに差別をしていたかもしれない。まずは、知ることの大切さ、重要であることを認識した。それと福山市内でも外国人がかなり増えていることは、わかっていたが、いろいろな国籍(言葉)への対応が、足りないことが知れた。
- ・この出会いに感謝。知っているようで知らないことも多く、何度も何度も学んでいくことで、自分のエネルギーになればいいと思う。

2025年12月11日(木)

## 「住んでよかった」にしたいまちの人権レシピコース

### 【第3講座】 福山市人権擁護委員協議会所属 客本牧子さん

- ① 人権とは
- ② 憲法の大切さ 「差別されない権利が保障されている」
- ③ 人権とは「わたしもOK!」「あなたもOK!」

#### 目的

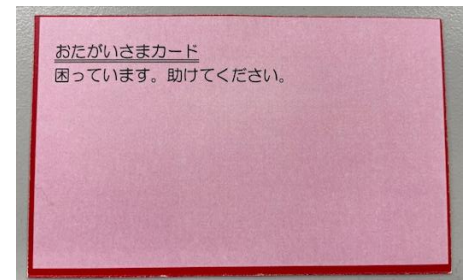
日常のなかの身近にある「人権」についてあらためて考え、「人権」の大切さについて学ぶ。

#### 学習の内容

- ・人権とは『誰か』のことじゃない」自分もまわりの人も平等に人権があり、私たちは毎日人権を使いながら生活している。
- ・自分の人権、そしてまわりのひとの人権を守っていくことは、誰もが大切にされる社会へとつながっていく。
- ・自分にどんな人権があるのか知るために、また人権侵害されたら、気づいて声を上げていけるよう、学び続けアップデートしていくことがとても大切。

#### 参加者の感想

- ・たくさん人権講座があるが、今回はシンプルなテーマだったため基本的な話を聞ける！と期待大だった。条例などがあることは知っていたが、読み込むことは難しく分かったつもりでいました、講師が読み上げをしてくださったので自分の中に落とし込むことができました。
- ・日常の中でのすれ違いは、コミュニケーション不足から生じる。「おもい」の温度差を少しでも小さくするため、関わっていくことをあきらめず頑張ろうとおもう。
- ・様々な角度から考える視点を教えられ、勉強になった。今日、参加して大変良かった。



#### ◆「おたがいさまカード」を書いてみましょう

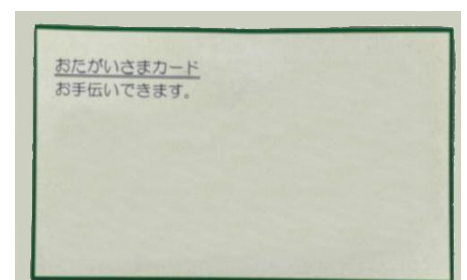
○赤と緑のカードでマッチングした人と人を結んでお互いを大切することができる

**赤** … 困っています。助けてください  
手伝ってください

**緑** … ○○できます お手伝いできます

※ このカードから学ぶことは、一緒の空間にいて社会に人権課題があるなど気づける力が必要だということ

おたがいさまカード (赤) ↑ (緑) ↓



じんけんだいがく  
ふくやま人権大学2025

ひょうげん  
表現ワークショップ

かさ  
「ちがひ」を重ねてひとつになる

えんげき つう であ  
～演劇を通じて出会ってみよう～

にってい  
日程

1. 17 (土) 13:00-17:00  
ひょうげんほうほう まな  
表現方法を学ぶ



1. 24 (土) 13:00-17:00  
ひょうげん まじ  
「わたし」を表現し、「あなた」と交わる

1. 25 (日) 13:00-17:00  
つた  
「わたし」と「あなた」を「みんな」に伝える

かいじょう ふくやましせいぶしみん  
会場 福山市西部市民センター

ていいん ちゅうせん  
定員 ※抽選

20人

さんかひむりょう  
参加費無料

もうしこみきかん  
申込期間

11/1(土)から12/17(水)



じんけんだいがく  
ふくやま人権大学って？

じんけんぶんか ねづ ちいきしゃかい じつげん む  
人権文化が根付いた地域社会の実現に向け、  
たいけいてき ひろ しや も がくしゅう  
体系的かつ広い視野を持って学習することにより、  
さまざまなかど じんけんけいはつ かか ないようおよ  
さまざまな角度から人権啓発に係る内容及びテーマに  
ついて、そうぞう はっしん ちいきき ようせい  
創造し発信できる地域リーダーを養成する  
こうざ  
講座です。

# プログラム

<b>1. 17 (土)</b> 13:00-17:00	せいぶしみん 西部市民センター  かい 2階ホール	ひょうげんほうほう まな <b>表現方法を学ぶ</b>  ■こうぎ えんげき しゅほう もち <b>講義、演劇の手法を用いたコミュニケーションゲーム</b>
<b>1. 24 (土)</b> 13:00-17:00	せいぶしみん 西部市民センター  かいたくてきしつ 5階多目的室	ひょうげん まじ <b>「わたし」を表現し、「あなた」と交わる</b>  ■グループワーク …さんかしゃどうし こせい もち より、じぶん ことば …参加者同士の個性を持ち寄り、自分の言葉で「わたし」を表現する。
<b>1. 25 (日)</b> 13:00-17:00 ※15:00-16:00発表	せいぶしみん 西部市民センター  かい 2階ホール	つた <b>「わたし」と「あなた」を「みんな」に伝える</b>  ■グループワーク…はつびょう む れんしゅう 発表に向けて練習 ■発表…はつびょう はつびょう あ グループごとに発表し合う (1グループ約10分) ■ふりかえ ぜん かい とお 振り返り…全3回を通しての感想等を共有

こうし いっぱんしゃだんほうじん ぶたいげいじゅつせいさくしつむしょくとうめい  
**講師 一般社団法人 舞台芸術制作室無色透明**

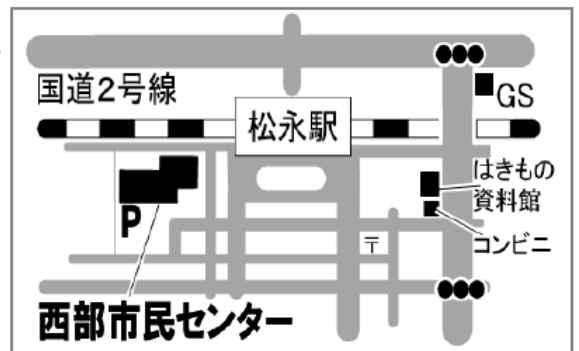
2010年(平成22年)、パフォーマンスアートの企画制作を専門に行う団体として旗揚げ。社会の中の「こんなふうになったらいいな!」を「演劇のちから」を活かして実現していくことをめざしている。近年では人形劇の創作を通じた子育て支援事業や、高齢者を対象にした演劇ワークショップの開催など、「演劇を通じて自分と違う他者を認め、他者との関係を築いていく体験を社会に広げる活動を継続中。2016年度(平成28年度)より、認定NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽんと協働して、障がいのある人もない人もともにつくる演劇「おきらく劇場ピロシマ」に取り組んでいる。

## 対象

ぜんにっさいさんか ひと  
 全日程参加できる人  
 ふくやましな いざいじゅう ざいきん  
 福山市内に在住、在勤、  
 ざいがく ひと  
 在学する人

## 会場

ふくやましせいぶしみん  
 福山市西部市民センター  
 (福山市松永町三丁目1-29)



## 主催・問合せ・申込み先

ふくやまししみんきょく すいしんぶ たようせいしゃかいすいしんか  
 福山市市民局まちづくり推進部 多様性社会推進課

でんわ、FAX、でんし、もうしこみ  
 電話、FAX、電子メールまたは申込フォームで、お申込みできます。

TEL : 084-928-1006 FAX : 084-928-1229

MAIL : [tayouseisyakai-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:tayouseisyakai-suishin@city.fukuyama.hiroshima.jp)

★メールまたはFAXでお申込みの場合は、次の内容を記載してください。

- ①お名前 ②ご連絡先(メールアドレスまたは電話番号) ③年齢 ④障がいの有無・種類  
 ⑤そのほか配慮事項(事前にスタッフに伝えておきたいことや、不安なことがあればお知らせください。)

## 2025ふくやま人権大学 第1回（1月17日実施）

### 講義：人権と表現

福山市から、ふくやま人権大学の目的や、人権とは何か講義をしました。

続いて、（一社）舞台芸術制作室無色透明より団体紹介と「なぜ人権大学で演劇を行うのか」について講義をしていただきました。講師（山田めいさん）からは、演劇・表現活動が自己肯定感を高めること、他者の立場や感情を想像する力（共感力）を育むことが説明され、参加者は熱心に聞き入っていました。



福山市「ふくやま人権大学の目的」



（一社）舞台芸術制作室無色透明による団体紹介

### ワークショップ：表現方法を学ぶ

講義の後は実技中心のワークショップを実施。アイスブレイク（フロア歩行、目が合った相手への挨拶、肘やつま先での挨拶、ペアでの目隠し歩行など）で距離を縮め、サークルワークではニックネーム紹介、ボールや“見えない石・赤ちゃん”の受け渡しでやり取りの感覚を育てました。場所当てゲームでは5名程度のチームごとに小学校やコンビニ等の“場”を身体で表現し、静止画で見せ合うことで観察力と表現力を高めました。最後に穴あき台本を用いた作品創作と発表を行い、役割分担を通して協働制作の楽しさと達成感を味わいました。振り返りでは一人ひとりが1日参加してみて感じたことを共有しました。



サークルワーク「“見えない石”の受け渡し



サークルワーク「場所当てゲーム」

## 2025ふくやま人権大学 第2回（1月24日実施）

### ワークショップ：言葉で、動きで「あなた」へ伝えて

#### …ここで受け取る

2回目も緊張をほぐすため、アイスブレイクからスタート。肘やつま先、指先であいさつをしながらフロア歩行をしたり、サークルワークではニックネーム紹介、“見えない石・赤ちゃん”の受け渡しをしたりしました。また「ブラブラ」「ギコギコ」のような擬声語や「きらきら」のような状態を表す言葉を体全体で表現し、言葉を使ったコミュニケーションだけでなく様々な表現方法を発見しました。



アイスブレイク「指先であいさつ」



サークルワーク「「ブラブラ」を体全体で表現」

### ワークショップ：「わたし」を表現し、「あなた」と交わる

初めにワークシート「私のこと」を記入しグループ内で発表しました。その後、グループごとにお互いに説明したり、質問をしながら、他己紹介形式で参加者に紹介しました。グループのみんなで紹介する文章や紹介方法を考え、自分の想いを言えて受け止めてもらえる安心感や一緒に作品を作る達成感がありました。4グループの発表は紹介方法も違い、他のグループの発表を聞いて、自分と異なる個性や価値観があることに気づく機会となりました。



「私のこと」を参加者に紹介



最後にふり返り

## 2025ふくやま人権大学 第3回（1月25日実施）

### ワークショップ：「わたし」を表現する

3回目も、アイスブレイクからスタート。肘やつま先、指先を使い、顔を合わせてあいさつをしながらフロア歩行をしたり、オノマトペ（擬音語や擬態語）で「しとしと」「ドンドン」のようなものごとの様子や、感情を体全体で表現していく方法をグループで考えました。みんなの協力とそれぞれの表現で伝わるように工夫しました。アイスブレイクの後には後半の発表に向けての全体説明が行われました。



アイスブレイク「しとしと」を表現



発表に向けての全体説明

### 発表：「わたし」と「あなた」を「みんな」に伝える

前回ワークシート「私のこと」を記入し、グループの中でどんな順番でどのように表現するかみんな決めていきました。その後、各グループで決めた表現を練習し、舞台上で発表しました。4グループの発表はそれぞれ個性があり、どのグループもみんなで協力して伝えることができました。みんな緊張したり、思いっきり自分を出したり、いきいき輝いていました。最後にふり返りで、みんなの前で発表してみての感想を言い合いました。3回の講座を通してお互いのことを知り、受け入れ「出会う」ことができたように思います。



グループ発表



グループ発表

## 参加者の感想



アイスブレイク「フロア歩行」



穴あき台本を用いた作品創作の練習

- ・ 最初は緊張していたけれど「こんにちは」と笑顔であいさつしていたら、和気あいあいとした雰囲気でも過ごせたことが楽しかった。
- ・ 自分のことを他の人の言葉で話してもらうことに少し恥ずかしさを感じながらも他では味わえない経験で楽しかった。
- ・ みんなで体を動かすことが楽しかった。



グループ発表



参加者全員でふり返り

- ・ 舞台上で表現したのが楽しかった。自分を出し切った。
- ・ いろんなアイデアを出し合ったり、一緒に練習すると心も通じ合えた。ステージの照明まで本格的だった。
- ・ 参加者みんなのことを知ることで「楽しい」笑えるエピソードがあり、「人を知る」ことや、お互いにコミュニケーションができて楽しかった。
- ・ セリフを覚え、表現を覚え、フォーメーションの移動など覚えることがたくさんあって大変だったが、少しの間違いはご愛敬という雰囲気でありがたかった。
- ・ 発表するとき、日本語が難しかった。練習を頑張った。